



19種目にチャレンジ！

横浜市戸塚区青少年指導員協議会 会長 薫科 文男

「ワー」「キャー」、戸塚駅近くの小学校の校庭と体育馆から、区内小学生の元気な声が聞こえています。ここは、幅跳び、お手玉、記憶力、スリッパとばし、丸太切り、大声出しなど19種目に挑戦する「チャレンジフェスティバル」の会場です。

この「チャレンジフェスティバル」は、低学年と高学年に分け、それぞれのチャンピオン38名を表彰するというものです。また最後には、お楽しみ抽選会と、全員にパンと飲み物のお土産もあり、毎年大好評です。子どもたちのチャレンジ精神を育むことを目的に、平成29年度で17回目。区内の小学生約400名が集まる大イベントになりました。

そのほか区青少年指導員協議会として、区内中高生を対象にした心肺蘇生や放水訓練などをはじめとする「青少年防災対応力強化研修」、各地区で制作した子どもたちの力作を一堂に集めた児童文化作品展の開催や、広報紙「戸塚区青少年指導員だより」の発行をしています。また、区内の中高生を対象にした陶芸教室、

舞台発表、作品展を行う「戸塚っ子いきいきアートフェスティバル」の共催も行っています。

戸塚区の青少年指導員は、17地区209名（平成29年1月現在）で構成。各地区では、工作、料理などの児童文化教室、キャンプ、ウォーキング、スポーツ教室、地域清掃などの体験活動、パトロール、地域のイベントへの参加など、さまざまな活動をしています。

第17回チャレンジフェスティバル



第17回チャレンジフェスティバルちらし



体験活動と子ども達の成長！

箱根町青少年指導員連絡協議会 会長 野沢 龍

箱根町青少年指導員連絡協議会は、湯本・温泉・宮城野・仙石原・箱根の5地区から現在24名の指導員が委嘱されています。

年間を通じて様々な体験活動を実施しており、夏休み中の8月には「須雲川キャンプ」が行われます。今年は、小学生31名、中学生ボランティア14名が参加し、川遊びやハイキング、マスのつかみ取りなど自然とふれあう貴重な体験ができました。

10月には「冒険プログラム」を実施し、専用の安全ハーネスを装着し、森の中を木から木へと空中移動するスリルある体験活動ができました。「自分の行動と安全は自分で管理し守る」という自立要素と「森林の自



然環境の中を冒險して遊ぶ」ことを目的にしています。最初は怖かった空中移動も仲間からの励ましと勇気で出来た達成感は、良い経験になったと思います。



また、11月には「クリーンハイキング」を実施し、通学路を含む町内をハイキングしながら、ポイ捨てゴミの回収など清掃活動を行い社会奉仕精神の意識を高めることを目的に行いました。清掃活動終了後には、参加者とバーベキューを行い、青少年指導員とのふれあい、交流を大切にしています。

観光地である箱根は、地域の祭り以外にも大行列、大文字焼き、湖水祭など観光的行事も多く、各地域で声掛けパトロールを実施しながら、これからも、学校や家庭ではなかなか体験できない様々な自然体験活動を通じて、子ども達の笑顔を第一に考え、青少年指導員として見守っていきたいと思います。